

浜松市

「地域で取組む継続した防災」

(大久保町自主防災隊)

平成 25 年度静岡県知事褒賞受賞

特徴ある活動

大久保町自主防災隊は地域で指定した 17 箇所の避難場所に個々に集まる「大久保てんでんこ方式」や、各世帯に事前配布している安否確認票を災害時に提出する仕組みを住民に浸透させている。

また、用水やため池が多い地域特性を活かすため、約 20 年前から 1 年任期の消火班（平成 24 年度は 20 名）を設け、定期的な訓練を実施している。継続的に実施することで、消火の知識を持つ住民の増加を図っている。

防災教育では、平成 24 年度は部ごとに計 5 回の DIG 訓練を実施、確認した避難経路を避難訓練で検証も行なった。小中学生にも、地震体験車で揺れを体験させたり、DIG 訓練に子ども連れでの参加を促すなどの工夫をしている。

自主防災組織の概要

623 世帯 2,059 名。浜松市の西部に位置し、浜名湖内湾にほど近く、昔ながらの集落が多い地域である。住民の防災訓練への参加率が非常に高く、集計をとった平成 24 年 3 月実施「地震津波避難訓練」では参加率が 83.4% であった。それ以降も同じくらいの世帯が参加している。



定期的な放水訓練



訓練には学生も参加します